広報 NISHIWAGA PUBLIC RELATIONS

にしわが

No.110
1月号
2015
（平成27年）

「広報にしわが」は西和賀町のホームページでも公開しています。
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/
西和賀町 検索

今月の内容

新年のあいさつ……2～3P
新春懇談会……4～6P
うれしい出来事……7P
行事や出来事の紹介……8～9P
地域レーダー……14～15P

「西高生の魅力発信！西高Live」は休載

一年間の無病息災を祈る伝統行事

1月19日、白木野人形送りが行われました。ワラ人形に地域内の疫病神を背負わせて地域の外に送り出し、人形を地域境の木に結びつけ、一年間の無病息災を祈りました。
（関連記事：15P）

新　年　初　夢

西和賀町長
細　井　洋　行

新年おめでとうございます。えとの羊にあやかり穏やかな年であってほしいと願いますが、今冬も豪雪を予感させる降雪を記録しています。事故などには十分気をつけ、暖かい春を迎えていただきたいと思います。

昨年は、西和賀さわうち病院を開院し、予定した診療科もすべて開設できました。北村院長先生はじめ、皆様に感謝申し上げます。今年は民間の診療所の先生方とも連携し、シームレス医療の実践で住民皆様の健康と安心生活の確保に新たな一歩を踏み出します。まずは、地域医療の担い手確保のために看護師はじめ医療スタッフ育成のための奨学金の新設を予定しています。西和賀高校から岩手県立大学看護学部に合格者を出すなど、明るい材料も出ていますので大いに期待しています。

昨年11月、北上信用金庫との連携などにより、新しい「がんばる西和賀応援寄付」（ふるさと納税）がスタートしました。平成20年度に始まったふるさと納税では6年間で累計3，618千円お世話になりました。今回の新制度での申込金が2ヶ月足らずではありますが9，656千円（4割分は特産品を贈ります）で嬉しい実績となっています。工夫して、今後の事業に有効に役立てていきます。

今年は戦後70年となります。NHKでは、超高齢化を迎える日本の戦後70年の歩みを振り返り、旧沢内村の取り組みから、高齢化とどう向きあっていけばよいか、未来のヒントを探る番組を夏に放送する予定になっています。

健康づくりを実践する町を標榜し、結果を出していけば新たな可能性も出てくるのではないでしょうか。ふるさと納税の財源活用で町内に医療スタッフを育成し、「温泉療養と人間ドックを一体としたヘルスツーリズム」を特産品としてプレゼントする夢などいかがでしょうか？少しお正月のおとそがきき過ぎた初夢かもしれませんが、これも西和賀の歴史と地域財産の有効活用の一つと考えられます。それにしても、町民皆様の生活習慣病撃退が前提となります。西和賀町の将来は、住民一人ひとりの皆さんの健康志向にかかっているといっても過言ではありません。誰にでも簡単にできる西和賀町発展のための取り組み、それは『健康志向』から始まるような気がします。さっそく今日から、なにか「ひとつ」自分で簡単にできることから始めてみませんか。

今年もなにとぞよろしくご指導お願い申し上げ新年のあいさつといたします。

感　謝

仕事始めの式で職員に訓示する細井町長

年　頭　所　感

西和賀町議会議長

佐々木　正　裕

町民の皆様、明けましておめでとうございます。今年は昨年からの降雪が多く大変な年明けとなりましたが、町民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

平成27年は我国においては戦後70年という事、当町西和賀においては生誕10年目という節目の年となりました。10年一昔といいますが、西和賀町においてもこの10年間は激動の10年といっても過言ではないと思うのであります。その中でも、やはり人口減少問題が一番大きいことと考えます。前県知事の増田寛也氏の著書でいわれています様に、西和賀町はこのままの状態でいますと消滅する自治体になるということであります。ですから、このままの状態で推移していくことは、許されないことであると認識をするものであります。一つは人口をいかに維持していくか、いま一つは西和賀の産業をどう発展させるかということであります。人口問題については、現在住んでいる人達はそのまま住んでいただくことはもちろんでありますが、町外からの人の受入れ体制も整えることも一つの選択肢と考えます。具体的には、地域おこし協力隊とか緑の森協力隊の受け入れ等、いま一つの産業の振興はやはり第一次産業が中心と考えます。稲作については、今日の状態では非常に厳しい局面であると考えますが、やはり西和賀は稲作を中心とし、その外の作目についても西和賀の地理的条件や風土を生かした作目を見い出し、長期的見通しのもと推進すべきと考えるものであります。

昨年10月には西和賀さわうち病院の開院と、今年1月からは副町長の就任が決まり、行政としては万全の体制が出来つつあると言っても良いと思います。観光産業についても力を注がなければなりませんけれども、まずは行政主導による第一次産業の安定施策の実行と人口減少問題を真摯に受け止めて、西和賀町が消滅する様なことは絶対あってはならないことと肝に銘じるものであります。行政主導による西和賀町の発展の力を発揮していただくことを希望申し上げます。また、我々町民も一丸となって、西和賀町が今以上に住み良い町に変遷させていくことに努力しようではありませんか!!

平成27年西和賀町消防出初式には佐々木議長をはじめ多くの来賓が参列しました

細井町長と中村学長（右）

2015年「広報にしわが」新春懇談会

1月15日　岩手県立大学学長室

＜出席者＞

●岩手県立大学　中村慶久 学長
〃　柴田義孝 副学長
〃　佐々木民夫 高等教育推進センター長
●西和賀町　細井洋行 町長
〃　高橋一夫 副町長（司会）

司会　中村学長、柴田副学長、佐々木センター長には、ご多忙のところ、時間を割いていただき、感謝申し上げる。今日は、人口減少、少子高齢化の先進地域である西和賀町が、今後どのような取り組みが必要かなどについて、意見交換をお願いしたい。

●西和賀の可能性

町長　県立大学からは、これまでも、様々なご指導ご支援をいただいている。西和賀町は県内屈指の豪雪地帯だが、自然や食文化など地域には素晴らしい素材がたくさんある。最近、県内で一番消滅の可能性が高い地域ということで注目されている。そのことについてはしっかり受け止めなければならない。だからといって、必要以上に慌てるのではなく、状況をきちんと見極めながら地域の持っている力、宝ものを再発見し、持続可能な地域として取り組む必要がある。そして、心豊かに生きるということが地域にとっての大きな財産であり、魅力であると思っている。

私たちが気が付かない、素晴らしいところをご指摘、ご提案いただくことで、あらためて自分たちの地域の良さに気づき、自信と郷土愛につながり、西和賀地域の可能性が広がっていくことを期待している。

学長　西和賀町は、自然豊かで食べ物がおいしい。最近では、西わらびや一本漬けなどが話題になっている。昨年、大学の「地域創造プログラム」で学生と一緒に訪問した。その時の学生たちの感想は、訪問して良かったと非常に評価が高く、感動することがたくさんあったとの報告を受けている。深澤晟雄さんなど、前向きの革新的な人物が出てくる土地柄だとも感じた。大学としても、岩手全体を知る上では西和賀町は外せない地域だ。学生たちには、もっと知ってもらいたい。以前からスノーバスターズなどで訪問しているが、もっとたくさんの学生が出かけていくということが大事だ。岩手県どこでもそうだが、若い人が地域に行って、地域の人と交流する。地域のことを知れば、地域のために何かやろうという思いも芽生える。

●県立大学との連携

司会　町と県立大学との連携については、いかがでしょうか。

町長　大学には、専門に研究している先生方がいて、そこに学ぶ若い学生がいる。人口減少問題は日本全体のことですが、農山村では更に顕著です。ぜひ、若い学生時代に研究でもボランティアでもいいので、農山村に来て体験してほしい。若い時は感受性が強いので、今まで自分が知らなかった農山村の素晴らしさに触れることを期待している。

学長　学生たちは感じたことがあると、卒業研究や大学院での研究テーマに取り上げることができる。問題発見を自らできるチャンスを早い時期に与えたい。

町長　感受性の豊かな若い人たちに地域に来てもらって、地域の自然や人とのふれあいで得た感動が人生観をつくって、その地域に住みたいと思う人が多くなればこの国の形作りにとっても素晴らしいことと思う。

学長　県立大生は真面目で素直、入学時は自信がない学生も多いが、刺激を受けて色々な活動をしていくと伸びていく。地元に腰を下ろして学ぶ機会をつくるのも大学の役目と思う。

町長　地域は大学に課題を研究してもらう、地域をフィールドとして学生にも入ってもらう。自然や人とのふれあいが学生の肥やしになって、交流で人材が育つことにつながってほしい。

学長　地域政策研究センターを立ち上げて3年、岩手のシンクタンクになることを目指している。地域から提案、学内から提案の両面の進め方がある。スタート時は1人の先生だが、ものによっては学部を超えて何人かの先生がグループを作って研究テーマとして何年か取り組む場合もある。学問の研究はどうしても個人的な研究になりがちなので、センターを軸にして多くの先生、学生が関われる仕組みができてきた。現在は復興が大きなテーマとなっているが、内陸がしっかりしなければ復興も成り立たないと思う。内陸への取り組みを取り上げる必要がある。国で進める地方創生はある意味いい機会だと思う。

また、地域に出かけるチャンスをつくることも必要だ。地域創造プログラムで西和賀に入った学生の感想に県立大学西和賀分校をつくってはという提案があった。学生、教員が行きやすい場所があれば、セミナーハウスや研究フィールドとして地域に入りやすくなる。

また、地域創造プログラムでは、西和賀コースを企画した看護学部2年の学生が西和賀高校出身で、企画から地域とのセッティングまでした。西和賀から大学に来て、その縁で学生たちが西和賀に出かけていく。そのような交流が広がることによって、例えばその学生が看護師になったときにいずれは西和賀さわうち病院にとの思いが出てくる。単に地元に残れというのではなく、受け皿を整えながら、そして、このような交流を繰り返していていくことが大切だと思う。

センター長 公開講座、市民講座という形で知的な資源を県民に提供している。大学の講堂を会場にしているが、地域講座という形で出かけることもある。敷居を高くしないで、西和賀のセミナーハウスでゆったり2、3日かけて町民の方と学生とが地域でふれあうことを継続していけば、そのような仕組みで観光なども含めた地域のシンクタンクとなりうるのではないか。

西和賀は岩手の縮図、西和賀のあり方は未来の岩手県と捉えてみたらどうかと思っている。研究やケーススタディーの中で単なる一拠点でなくて、翻(ひるがえ)って岩手県全体の地域を考えるモデルケースとして考えてみてもいいのではないか。

●今後の町の取り組み

司会 今後の取り組みについては、いかがでしょうか。

町長 高齢化率も県で一番の西和賀町。間違いなく岩手県、日本全体が今の西和賀に近づいてくる。そういう意味では、高齢者を支える社会の仕組みのあり方など先進事例として取り組むことができると思う。町には病院があり、今年、西和賀高校から県立大学看護学部に1人合格している。県立病院も含めて看護師が不足している状況の中で、医療資格を取得する学生を応援する新しい奨学制度をつくる予定である。勉強して資格取得して地域に戻れる仕組みづくりに取り組んでいる。

学長 4年で看護師の資格を取得することはできるが、看護師もかなり幅広いレベルがあり、医師と同等に中心的な役割を担う看護師に育ってほしい。現場での経験もそうだが、大学院でそこまでの資格を取得するという部分まで支援する制度があると、病院を支える地域にとってすばらしい人材が育つと思う。大学は、教育と研究と並び地域貢献も大きな役割となっている。

町長 今、地方創生が国策として動き出そうとしている。その中でいかに地域が生き残っていくか、それには、自分の足元にある地域財産に光を当てて、活用していくことが必須だと思う。山林原野が9割を占める西和賀にあって、蒔ストーブの普及など、身近なエネルギーの活用、木を使うことで山も良くなっていく。森林エネルギーで切り拓く西和賀の未来推進事業を立ち上げている。海外視察なども経て研究成果を積み上げ、西和賀さわうち病院へのチップボイラー導入に結びついた。

学長 今後の地域と大学の連携のあり方として、個別の研究だけでなく、地域連携センターを窓口として、協定締結など大学全体として繋がりをもつ連携強化を図ろうとしている。個別研究だけでなく、先生方や学生、院生を巻き込む形で結びついていけば、町にとっても大学にとっても連携の構図が明確になり、継続性が図れると思う。常に学生が出入りしているとか、大学全体でしっかり見ていくとか、継続性のある取り組みが必要だし、公立大学はそれをやらないと意義がない。特に県立大学は地域の大学として、しっかり取り組みたい。継続して行き来できるプログラムを大学でつくらなければならないし、地域での受け皿づくりも考えていただきたい。研究テーマがあれば学生を連れて行けるし、セミナーハウスなどの場所があれば地域に入りやすい環境にもなる。

（次ページに続く）

●町が目指す「食と観光」

司会　西和賀町が取り組んでいる「食と観光」についてはいかがでしょうか。

学長　観光という視点でいえば、現在、宮古市で考えているＩＣＴを活用した防災と観光のモデルを西和賀町に応用して、さらに地域の特色ある西和賀町ならではのものにしてみたいと思う。例えばスマホのアプリを活用して、観光スポットの案内やデータの蓄積をして東京などから来た人にわかりやすい環境をつくり、来て良いところを発見していただけるようなことができないかと考えている。そのような仕組みがあれば外国人観光客にも応用できる。

副学長　今年度は宮古市田老でその仕組みを試行的に作る予定で、うまくいけば県内に広めていきたいと考えている。情報は自分で探すものもあるが、発信する側からもWifiなどで地理や歴史などの地域情報を送ることができる。更に履歴が蓄積されて自分のアルバムがつくれたりもする。問題はそこのコンテンツ、情報の中身が重要で、その部分では地元の人たちの力が必要になる。また、Wifiなど発信源には電源が必要となり、孤立しないように太陽電池などを置きながらスポットを作るが、これは防災など何かあったときにも活用できる基盤にもなる。

　これからの観光は、団体客は見込めない状況なので、個人客をどう呼び込むかがポイントとなる。東京からふらっと1人で来ても、このような環境が整っていれば、1人で地域を歩けるわけです。情報をうまく使って取り込んで、そして情報を点で終わらせるのではなく繋げていくこと、場合によっては秋田まで線を繋げていけば呼び込める条件が整ってくる。

町長　西和賀のまちづくりのスローガンとして「食と観光」を掲げて取り組んでいる。食でいえば、人に売るという感覚が今までは足りなかった。自分が食べて、隣近所におすそ分けするもので、商品にまではなっていなかったと思う。他所（よそ）の人の評価は高く、とてもおいしいといっていただけるものなので、もっとしっかりやれば商品価値は十分あるとやっと気づいてきたところだと思う。そこで更に、地域資源を生かして、工夫をしていけば必ずや活路が見い出せると考えている。

司会　県立大学との連携、今後の町の取り組みなどについて、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

町立西和賀さわうち病院 開院2年目は飛躍の年に

病院長
北村　道彦

　新病院は、初めての新年を迎えました。

　今回の年末年始は9連休でしたので、12月31日に外来を行ったところ、35名と多くの方に受診していただきました。休み中に30名のインフルエンザの検査を行い24名が陽性でした。かなり蔓延しておりますので注意して下さい。

　1月5日には新病院に移って初めてドクターヘリ搬送がありました。昨年11月に西和賀消防署のご協力で、ドクヘリと防災ヘリの訓練を行い、駐車場の一部を正式にヘリ基地運用することを決めていた準備が生きました。前後しましたが、11月から開設した泌尿器科（第1・3水曜日午後）、耳鼻咽喉科（第2・4土曜日午前）、12月からスタートした整形外科（第1火曜日、第4木曜日午前）の外来は多くの方が受診されています。毎週火曜日午後の物忘れ・認知症外来も順調に動いています。また、1月からは第2火曜日の夜間外来を開始しました。

　このように新病院は、地域のニーズに応えるべく、新しい取組みを積極的に展開する所存です。そんな中で、引越しから引続いて援助していただいているボランティアの皆さんの参加は本当に大きな力になっています。直接の支援に加え、住民の視点からの数々の具体的な提案が病院改革に大いに役立っています。幸い開院後は、入院、外来、救急車受け入れも順調です。医療の地域内完結率は明らかに上がっています。そして、開院2年目となる今年は、まさに病院の真価が問われる年であります。職員一丸となり努力する所存です。関係の皆々様には、改めて一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたしまして、新年のご挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

これからもお元気で

藤原タミさんが100歳

介護老人保健施設清水苑に入所している藤原タミさんが100歳を迎え、1月5日に細井町長が訪問してお祝い状と記念品が贈られました。

タミさんは大正4年1月4日、大野生まれ。忠次さん（故人）と結婚し、農業で家族を支えてきました。子５人、孫７人、ひ孫７人に恵まれています。手先が器用で裁縫も好きだったとか。

ご家族と施設スタッフの見守る中、緊張した面持ちのタミさんでしたが、贈られた花束とお祝いの拍手に「皆さんのおかげです。ありがとうございます」としっかりと感謝の気持ちを伝えました。

たくましく育て町の宝・成長の証に ㉓

スイートベイビー健やかに

髙橋 槙人（まきと）くん（進さん・孝子さん／前郷）

スイートベイビー（記念品贈呈）について申請方法など詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ先　総務課 ☎８２―３２８１

脱いだ半纏ににじむ安堵と愛惜

新田信雄さんが顧問を勇退

消防団顧問の新田信雄さん（83歳・長瀬野）の退任にあたり、細井洋行町長と糯田勉団長が訪問、長年の功績をたたえ感謝状が贈呈されました。

新田さんは昭和29年に沢内村消防団へ入団、副団長2期、団長3期を務めるなど47年間消防職務に精錬され、団長退任後も顧問として消防団員の育成指導と地域の安全のために尽力されました。

新田さんは消防に尽くした半生を振り返り「郷土愛の精神に燃え、地域住民の安全確保に励んできた。日消特別訓練や操法全国大会、婦人消防協力隊の結成など、消防史に残る経験もした。入団以来60年間、多くの皆様に支えられ無事に過ごす事が出来たことに感謝したい」と謝辞を述べました。

新田信雄さん（左）と陰ながら支えたご家族

髙橋倭子さん３年の努力が花咲く

全国高校生俳句大賞で最優秀賞!

第17回神奈川大学全国高校生俳句大賞で、髙橋倭子（わこ）さん（黒沢尻北高校3年・野々宿）の作品（3句一組）が最優秀賞に輝きました。

全国143校からの応募総数9901組から選ばれた最優秀賞は髙橋さんの作品を含めわずか5点、昨年8月に行われた全国高校俳句選手権大会「俳句甲子園」での優秀賞に続く栄誉となり、高校3年間部活動で俳句創作に取り組んだ成果が大きく評価されました。

受賞作品

日焼して大きな夢を語りけり

流木の冒険思いつつ涼し

夕焼や電車の中という孤独

受賞3作品への髙橋さんのコメント

高校生である今の感性を大切に詠んだ3句です。夏の季語にその時の思いをこめました。

町民の安全と安心を守る決意を新たに

消防出初式

1月4日、沢内庁舎駐車場で西和賀町消防出初式が行われ、消防団、婦人消防協力隊など271人のほか、来賓などおよそ60人が参加しました。

式典では、消防殉職者に対する黙祷に続き、無火災表彰として4分団2部（太田・鍵沢、10年間）、3分団3部（飯豊、5年間）に町長から表彰状が授与されました。

統監の細井町長は式辞で「消防団員、消防職員ならびに関係各位には、地域の安心と安全の確保のため、未然防止活動を含めた献身的な取り組みに敬意を表します。先の大震災から4年、また戦後70年を数える年、年々予想しない災害が多発し、日頃の防災に対する備えはますます重要です。人口減少問題が進む中、新たな消防防災のあり方が問われてもいる。郷土の更なる繁栄のため、皆様のご理解の下、行政としても全力で取り組むので、皆様の総力を結集し地域防災力の更なる充実強化を果たしていくことを祈念する」と激励しました。

また、糯田勉団長（川尻）は「昨年は3件の火災が発生している。毎年無火災を目指しているが、なかなか無火災を実現できていない。地域住民の生命と身体、財産を守るのはもちろんのこと、地域の安全と安心のため、西和賀消防署と婦人消防協力隊のご指導、ご協力を得ながら無火災を目指して、団員一丸となりさらなる精進をお願いしたい」と訓示しました。

式典後には、団員が規律正しく整列し、町長をはじめ来賓により観閲が行なわれました。また、ラッパ隊を先頭に消防団と婦人消防協力隊、車両隊による分列行進も行われました。たくさんの来賓や観客が見守る中、爽快なラッパの音色に合わせて一糸乱れぬ隊列を組む団員の姿は、使命感と覇気を感じさせる勇壮な行進となり、今年一年の地域の安全と安心を守る決意が表れました。

部隊が集合し、出動報告を受ける糯田団長

10年無火災表彰を受ける4分団2部

統監の観閲を受ける婦人消防協力隊員

使命感と覇気を感じさせる勇壮な行進

交通指導隊・防犯隊合同出動式

1月11日、沢内農業者トレーニングセンターで交通指導隊と防犯隊の合同出動式が行われました。

会場には交通指導隊9人と防犯隊17人が参加し、髙橋芳勝交通指導隊長（耳取）と田中實（まこと）防犯隊長（貝沢）の指揮で出動式に臨みました。

式典では観閲点検が行われ、整列した隊員は、観閲官の細井町長から手帳や警笛などの装備品に異常がないか点検を受けました。

観閲点検の後、来賓の羽澤武志北上警察署長が「初点検では皆さんの旺盛な士気、その凛とした姿勢、態度を見て、本当に心強く感じた。隊員皆さんは仕事等を持ちながら、日夜の地道な活動に取り組まれている。警察も地域の安全と安心のために全力を尽くす次第であり、今後とも引き続き協力をお願いしたい」と祝辞を述べ、隊員を激励しました。これを受けて田中防犯隊長が「交通指導隊は交通安全意識高揚を図る活動を積極的に行い、防犯隊も犯罪や非行のない明るい町づくりを目指して活動してきました。今年も安全で安心な町を目指し、初心を忘れず、隊員一人ひとりが強い信念を持って活動していきます」と話し、町の安全を守る者としての決意を表明しました。

決意表明をする田中防犯隊長（中央）

観閲を受ける両隊のみなさん

制度見直しへの大きな反響に感謝!!
がんばる西和賀応援寄附に申込急増

平成20年度に開始した「がんばる西和賀応援寄附」は、昨年11月にふるさと納税のしくみを大きく見直して再スタートしました。変更点は３つ、インターネットでの申込を可能とし、クレジット決済にも対応、そして5000円以上の寄附には特産品をプレゼントするというもの。

再スタート後から大きな反響があり、12月末までに入金された寄附金額が859万円（1219件）にも及びました。過去の実績では、平成20年度が最高寄附額85万円（19件）となっており、わずか45日で年間最高額の10倍にまで急増する結果となり、今後の取り組みに大きな期待がかかります。

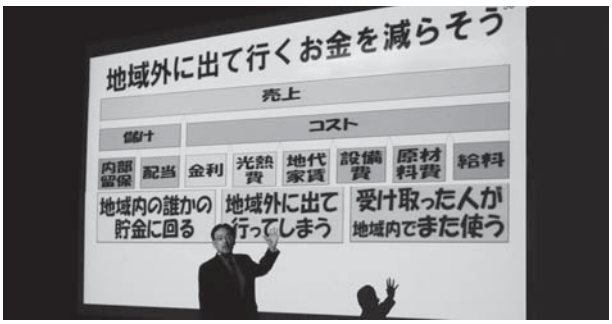
○寄附金の使い道

子育て支援のための事業	216万円
活力ある産業創造のための事業	202万円
地域力向上を図るための事業	128万円
若者定住のための事業	109万円
健康・生きがいづくり支援のための事業	90万円
その他	114万円

○プレゼント特産品のランキング

湯田牛乳プリンセット	338件
湯田牛乳バラエティセット	133件
クリームブリュレセット	131件
あきたこまち（5kg）	100件
あきたこまち（10kg）	89件
西わらび餅　詰め合わせ	79件

資源とお金を地域内で循環して
西和賀町だからできる里山資本主義



12月11日、銀河ホールで「里山資本主義」などの著書で知られる日本総合研究所主席研究員・藻谷浩介氏の「西和賀からはじまるしなやかな日本」講演会が開催されました。

藻谷氏からは、「人口が減らなくなること」「若者が戻ってきて、子供が生まれ続けること」「誇りを持って地域を残すこと」こそが活性化につながる道であるとのお話しがありました。

藻谷氏が提唱する「里山資本主義」は、地域にある資源やお金、善意を地域内で循環させることによって、働く場が増え、若者たちが定住し、地域全体が豊かになっていくというものです。マネー資本主義と対極にあるこの考え方は、私たちの生き方に通じるものがあります。

「西和賀町は多くの資源やいい条件があるのに人口減少が進みすぎている」という藻谷氏の指摘は、私たちに奮起を促すエールでもありました。

冬の生活を支える力が集結！
スノーバスターズが出動!!

１月11日、沢内農業者トレーニングセンターで西和賀町スノーバスターズ出動式が行われました。

各地区や協力事業所のボランティアなど約120人が参加し、会長の深澤賢雄さん（猿橋）が「今季も高齢者の安心と安全な作業を」とあいさつし、参加者を代表して西和賀高校２年生の石川亜葵（あき）さん・栞銘（かんな）さん姉妹（若畑）が「元気に声がけをしながら、怪我なく安全に作業を行い、この地域に住み続けたいという人たちのために、不安を少しでも取り除いて支えとなる活動をしていきます」と力強い誓いのことばを述べました。

出動式後、スノーバスターズはそれぞれの地区に別れ、今シーズンの活動を開始しました。

石川亜葵さん・栞銘さんによる誓いのことば

農地を活用した結いづくりの模範に！
新町区農地･水環境保全会が知事表彰

受賞を町長に報告する代表の南川幸一さん（右から２番目）と事務局の佐藤政信さん（右から１番目）

12月11日、県民会館大ホールで行われた「いわて農林水産躍進大会」で新町区農地・水環境保全会（南川幸一代表）が岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞（知事表彰）を受賞しました。

同会は平成23年から活動を開始し、農地127ha・水路46km・農道22kmの保全管理と耕作放棄地の対策に取り組んでいます。また、地元小学生との田植えや稲刈り体験を通じ、交流と食育にも活動を展開していることなどが農地を守る結いづくりの模範と認められ受賞に至りました。受賞後、同大会で事例発表があり、会場から大きな拍手が寄せられました。

町県民税の申告相談が始まります

平成27年２月16日(月)から３月16日(月)までの期間で町県民税の申告相談を開催します。
次の書類を配布いたしますので内容をご確認のうえ期限内に申告をしてください。

- 『申告案内書』　１月１日時点の世帯員の氏名などか書かれた用紙
- 『申告日程表』
- 『申告に必要な書類の一覧表』
- 『申告が必要な人・申告しなくてもよい人の一覧表』

収入がない旨の申告

課税対象の収入がない人※でも、収入がない旨の申告をすることをおすすめします。
申告をしないと保険料・保育料の算定や軽減判定などに影響がでる場合がありますし、所得証明書の発行がされません。
収入がない旨の申告をしたい場合は、申告書用紙を税務会計課窓口と町民課窓口に用意しておりますので、住所氏名の記入、押印のうえ税務会計課住民税係にご提出ください。
郵送を希望する人は税務会計課住民税係までご連絡ください。

※課税対象の収入がない人とは遺族年金や障害者年金のみ受給している人、雇用保険のみ受給している人、全く収入のない人のことをいいます。

青色申告の選択をお考えの人へ　相談コーナーを設置します

青色申告を選択すると、最高65万円（複式簿記の場合）又は最高10万円（簡易な帳簿による記帳）の特別控除を受けることができます。**平成26年１月からは白色申告の事業者でも帳簿の記帳・保存が義務付けられているので、同じ書類を整備していれば青色申告に移行したほうが有利な人もいます。**青色申告会役員が青色申告制度についてご紹介いたしますのでぜひこの機会にご相談ください。
全地区の方が対象です。両日のうちご都合のよろしい日にお越しください。

・２月24日（火）	湯田庁舎申告会場	３階申告待合室内	時間はいずれも午後１時から
・３月11日（水）	沢内庁舎申告会場	老人福祉センター１階申告待合室内	午後３時30分まで

○町・県民税の申告が必要な人（町の申告相談で申告をする必要がある人）

平成27年１月１日現在、町内に住所を有しており次のいずれかにあてはまる人

◎公的年金等の収入の他に公的年金以外の所得がある(注1)
◎公的年金等の収入のみで次にあてはまり、その他に所得はないが所得控除を受けたい
　平成27年１月１日現在、65歳以上で年金収入額が148万円を超える
　平成27年１月１日現在、65歳未満で年金収入額が98万円を超える
◎給与所得者で次のような人（事業専従者給与、日当なども含まれます。）
・事業主から役場へ給与支払報告書が提出されていない
　以下は、給与支払報告書が役場へ提出されている場合
・年末調整済みの給与以外に所得がある（注２）
・年末調整をしていない給与がある（注３）
・年末調整の内容を変更したい(所得控除の変更、追加等)
◎営業、農業、不動産の所得がある
◎配当、譲渡などの所得、一時所得、公的年金以外の雑所得がある
◎医療費控除や住宅ローン控除、雑損控除などの所得控除を受けたい

（注１）公的年金等の収入金額が400万円以下で公的年金以外の所得が20万円以下の場合、所得税の確定申告は不要ですが町県民税の申告は必要です。
（注２）年末調整済みの給与以外の所得が20万円以下の場合、所得税の確定申告は不要ですが町県民税の申告は必要です。
（注３）金額によっては申告不要の場合もございます。申告係へお問い合わせください。

町県民税申告相談についての問い合わせ先／税務会計課（申告係）☎82―3282

◯町・県民税の申告が不要の人（町の申告会場へお越しいただく必要がない人）

◎商工会、農協を通じて所得税の確定申告を済ませる
◎税務署へ所得税の確定申告書を提出する
◎勤務先で年末調整を済ませその他に所得がない
◎公的年金等の収入のみでその他に所得がなく所得控除を受けない
◎公的年金等の収入のみの人で次にあてはまる人
平成27年１月１日現在、65歳以上で年金収入額が148万円以下
平成27年１月１日現在、65歳未満で年金収入額が98万円以下

平成27年度（平成26年分）町・県民税の申告相談受付日程

対象地区の日に来ることが出来ない方は他の日でも構いません。その場合はできるだけ午後にお越しください。

月日（平成27年）	対　象　地　区	受付時間		会　場
		午前	午後	
２月16日(月)	湯田・清水ヶ野・間木野・槻沢	9:00～11:30	1:00～4:00	湯田庁舎３階会議室
17日(火)	穴明・下前・左草	9:00～11:30	1:00～4:00	
18日(水)	湯本・湯之沢	9:00～11:30	1:00～4:00	
19日(木)	川尻一区・川尻二区・柳沢	9:00～11:30	1:00～4:00	
20日(金)	小繋沢・耳取・草井沢・鷲之巣	9:00～11:30	1:00～4:00	
23日(月)	上野々区・湯川	9:00～11:30	1:00～6:00	
	湯田全域（午後1:00～6:00）時間延長日	（受付なし）	1:00～6:00	
24日(火)	越中畑・野々宿・白木野 （※青色申告希望者相談コーナー開設日 開設時間　午後1：00～3：30）	9:00～11:30	1:00～4:00	
25日(水)	大野・東大野	9:00～11:30	1:00～4:00	沢内庁舎老人福祉センター1階
26日(木)	新町	9:00～11:30	1:00～4:00	
27日(金)	鍵飯・前郷	9:00～11:30	1:00～4:00	
３月２日(月)	太田	9:00～11:30	1:00～4:00	
３日(火)	弁天・猿橋	9:00～11:30	1:00～4:00	
４日(水)	泉沢・長瀬野	9:00～11:30	1:00～4:00	
５日(木)	川舟（丸志田・小坂・安ヶ沢）	9:00～11:30	1:00～4:00	
６日(金)	川舟（高下・新山・川舟）	9:00～11:30	1:00～4:00	
９日(月)	若畑	9:00～11:30	1:00～4:00	
10日(火)	**沢内全域【時間延長日　午後6:00まで】**	9:00～11:30	1:00～6:00	
11日(水)	貝沢 （※青色申告希望者相談コーナー開設日 開設時間　午後1：00～3：30）	9:00～11:30	1:00～4:00	
12日(木)	全地域	9:00～11:30	1:00～4:00	湯田庁舎３階会議室
13日(金)	全地域	9:00～11:30	1:00～4:00	
16日(月)	全地域【受付終了時刻　午後3:00まで】	9:00～11:30	1:00～3:00	

花巻税務署からのお知らせ

◆問い合わせ先／花巻税務署　☎0198-23-3341

①所得税の確定申告
日程　**２月５日(木)～３月16日(月)**
会場　花巻市生涯学園都市会館（まなび学園）
住所：花巻市花城町１－47

②便利です！郵送やインターネットによる確定申告
ご自分で確定申告書を作成して税務署に提出する方法があります。

【郵送による提出】国税庁ホームページ（http://www.nta.go.jp）の『確定申告書作成コーナー』で申告書を作成し、印刷したものを税務署へ郵送することができます。
【インターネットによる提出】国税庁ホームページの『ｅ-Ｔａｘ（国税電子申告、納税システム）』を利用してインターネットで申告書を送信することができます。

知ってほしい「町の介護保険」（第１回）

65歳以上の人の介護保険料は、市町村ごとの介護保険事業計画に基づいて、３年ごとに見直しを行っています。この介護保険事業における介護給付費と地域支援事業に必要な費用を合わせた見込額のうち、21％（来年度は22％）が65歳以上の人の負担となっています。

来年度からの第６期介護保険事業計画（平成27年度～平成29年度）による見直しに当たり、町の介護保険事業の状況や今後の見込み等を３回にわたってお知らせします。

■現在の介護保険給付費の財源の内訳

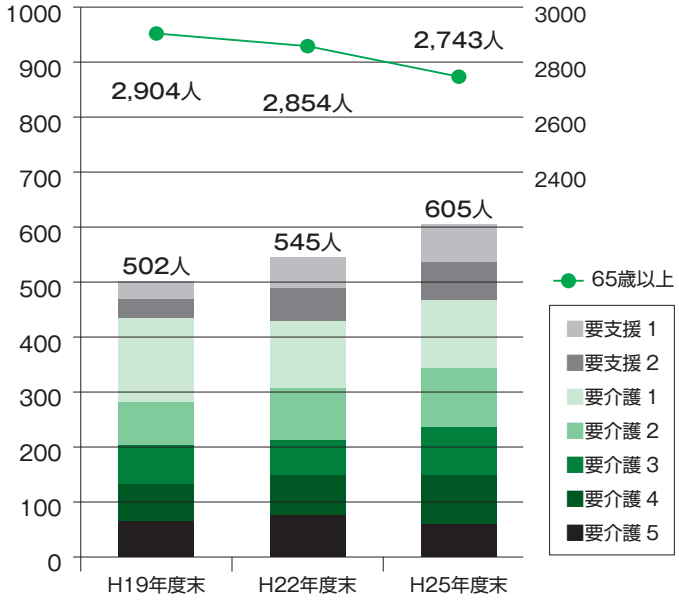
介護保険サービスを利用した場合、利用者の方は概ね１割負担（平成27年８月から一定以上の所得がある場合２割負担）となりますが、残りの９割は介護給付費として町が支払います。介護保険サービスの利用が多くなれば、介護保険料も高くなる仕組みとなっています。

介護保険サービスの財源

１割	利用者の負担			
９割（介護給付費）	保険料 50%	65歳以上 21% 第1号被保険者		
		40歳～65歳未満 29% 第2号被保険者		
	公費 50%	町	県	国

■介護保険認定者の状況

町の65歳以上の高齢者は平成26年３月末で2,743人ですが、介護保険の認定者数は年々増えており、平成25年度末では合併時から約100人増の605人となっています。



■介護保険給付費の状況

町の介護保険給付費も年々増えてきており、平成25年度末では、平成24年度と比べて約４千万円、合併時から比べると約２億１千万円増えています。

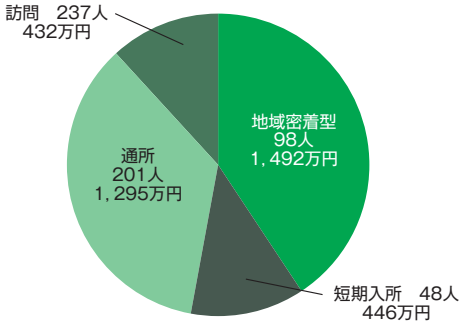
平成26年度の状況を月平均でみると、介護認定を受けている人のうち在宅サービス（グループホームや小規模多機能型などの地域密着型サービス、ショートステイ、デイサービス、ホームヘルパー等）を利用している人は、述べ584人、給付費は月額平均で約3,665万円です。

また、施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、病院の療養型）に入所している人は述べ160人、月額平均で約3,912万円の給付費となっています。

このほかにも住宅改修や福祉用具の購入など、いろいろなサービスがありますが、かかった費用の９割である約８千万円が毎月町の介護保険から支出されています。

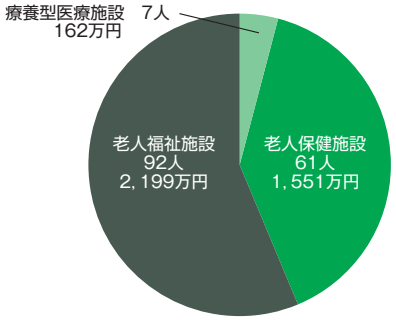
在宅サービス

述べ 584人　3,665万円



施設サービス

述べ 160人　3,912万円



■地域支援事業の状況

介護保険は、認定を受けていない方々にも地域支援事業という形で使われています。

毎年各公民館で行う「基本チェックリストの回収」や、体操をしながら仲間づくりをする「お達者教室」、認知症予防の「笑い笑い教室」や、65歳以上の男性を対象とした「男の料理教室」などの予防事業や、「地域介護予防サロン」などの日常生活支援事業のほか、「医療介護福祉研究発表会」、「生活介護支援サポーター養成講座」を開き、地域で地域を支える人づくりをめざしています。

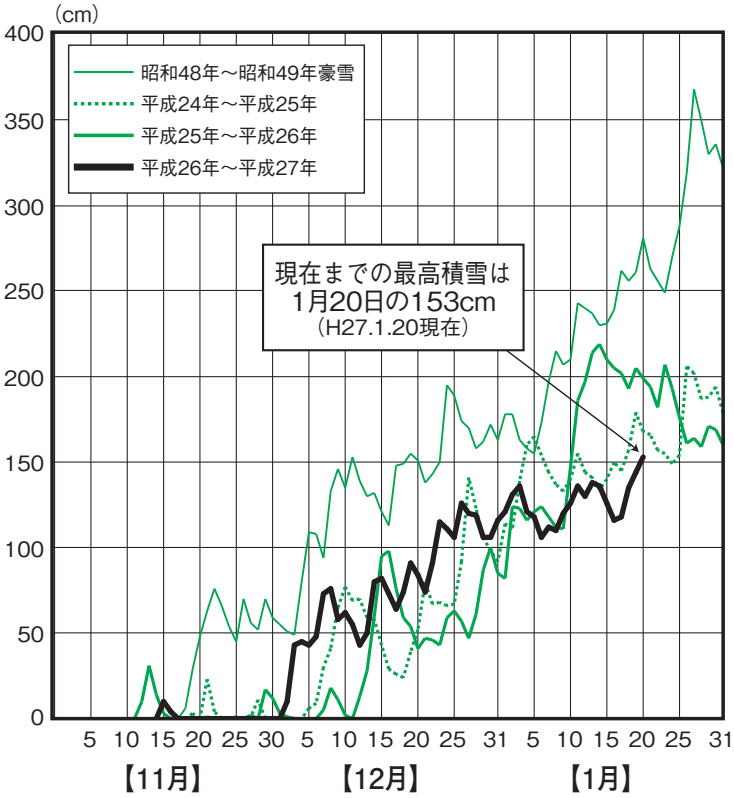
今年度の基本チェックリストの回収は、福祉計画及び介護保険事業計画に関する住民説明会とあわせて、２月16日㈪から３月11日㈬まで実施する予定です。（※日程等については、別途チラシや対象者宛の通知書等でお知らせします。）

問い合わせ先　医療保険室☎85-3414

積雪調査結果

西和賀町では、町内1か所（大沓地内）で独自に積雪量を観測しています。調査結果は独自のものなので、テレビ報道や新聞報道とは数値が違う場合があります。

●問合先／総務課　☎82-3281



冬の脳卒中予防対策について

脳卒中の発症や死亡は冬が多く、その要因として冬の寒さがあげられます。気温が下がることで末梢血管が収縮し血圧が高くなるなどが原因で、脳卒中が起こりやすくなります。冬に脳卒中を予防するためには、食事や適度な運動、禁煙、節酒等に留意し、なるべく暖かい環境で過ごすことが大切です。

【冬の脳卒中予防対策】

(1)屋外対策：屋外では、コートや帽子、マフラー、手袋などで防寒し、冷たい空気を吸わないようにマスクをつけましょう。

(2)屋内対策：❶冷え込みやすい脱衣所やトイレ等は暖めておきましょう。❷お風呂に入る前にシャワーなどで風呂場全体を暖めましょう。お風呂に入る時は、熱すぎるお風呂は避けて、ぬるめのお風呂に入りましょう。❸お風呂に入る前と入った後、寝る前と起床後は、水分を摂りましょう。

(3)お酒：冬はお酒を飲む機会が増えます。大量のアルコールは血圧を上げるほか、脱水症状を起こしやすいので、ほどほどに飲みましょう。

●**問合先**／保健福祉課☎(85)3411
中部保健所☎0198(22)2331

子育て支援のお知らせ

西和賀町子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

保護者の病気その他の理由で、家庭で児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童福祉施設で宿泊を伴った一時預かりを行います。

●**対象児童**
町内に居住する0歳～18歳未満の健康な児童で、保護者が次の事由のいずれかに該当し、保護者以外に養育する人がいない場合利用できます。
・保護者の疾病や身体的な又は精神的な負担に係る事由
・冠婚葬祭などの社会的な活動に係る事由

●**子育て短期支援の期間**
支援の期間は7日以内です。

●**預かりをする施設**
町が委託契約をした児童福祉施設となります。

●**申込みについて**
子育て短期支援事業を利用する場合は、保健福祉課に申請書を提出してください。

●**問合先**／保健福祉課
☎(85)2111（代表）
☎(85)3412（直通）

子育てサロンの開催について

未就園児と母親が一同に会して、育児の悩みの共有や仲間作りを目的とした『子育てサロン』を毎月1回開催しています。

●**日時**／2月18日(水)　10時～
●**会場**／太田老人福祉センター
10時に集合してください。
●**内容**／ひなまつりを行います。
●**費用**／1家族200円
●**問合先**／西和賀町社会福祉協議会
☎(85)3225

西和賀さわうち病院だより

病院では子どもたちの絵を展示しています。12月はせんだん保育所、1月は新町保育所の園児たちの絵を1階中待合に展示します。

今後も他の保育園、小学校等の作品を展示する予定ですので、ご覧いただきますようご案内いたします。

●**問合先**／西和賀さわうち病院☎(85)3131

親子での正月準備で楽しい思い出づくり

川尻小柳（こやなぎ）地区子供会「親子鏡餅つくり」

元気良く餅つきをする高橋蒼羽（あおば）君
（湯田小学校１年生・中央）

12月27日、小繋沢公民館で川尻小柳地区子供会の「親子鏡餅つくり」が行われました。夏休みに紫波町に行ってピザを作ってみんなで食べたのが楽しい思い出となったことをきっかけに、冬休みにもみんなで何かを作って楽しみたいと計画されました。

当日は児童10人と保護者など20人が集まり、地元産のもち米を杵と臼でついて鏡餅をつくりました。地区民生委員に鏡餅の作り方を指導された児童たちは、思い思いに鏡餅をかたどっていました。また、もち米が蒸し上がるまでの待ち時間には、冬休みの宿題をみんなで取り組み、鏡餅が出来上がった後はお母さんたちが作ったおもちを食べました。

今年も届けます！冬が作るおいしい伝統の味

大根の一本漬けの年内発送大詰め

12月29日、大根の一本漬け「オーナー」への年内発送最終日を迎え、発送作業の大詰めとなりました。

西和賀産業公社では、町内農家より買い付けた大根を11月中旬から漬け込み、全国からの注文に12月20日から発送作業が始まりました。大根の一本漬けは冬の保存食として各家庭で作られ、先人の知恵により冬の寒さを利用して低塩分で漬け込まれた伝統食です。

大根の一本漬け販売は500本から始まり、オーナー制の導入などで３年間で15000本まで拡大、今年度は20000本の計画でしたが大根の不作などにより15000本を漬け込みました。オーナー制では、注文者が一本漬を受け取る時期を指定します。12月中に約5000本の一本漬がオーナーに発送されました。

おいしく漬け上がった「一本漬け」は雪をつめて冷蔵発送

天ヶ瀬区で迎えるはじめての年

天ヶ瀬区新年交賀会

昨年はお世話になりました。今年もみんな元気に！

１月４日、耳取公民館で初めてとなる天ヶ瀬区新年交賀会が開催されました。同日に行われた消防出初式の慰労会も兼ね、一本漬けや煮しめなど持ち寄った料理と午前中についた４升の餅も振舞われ、参加した約40人が新しい年の訪れを盛大に祝いました。

天ヶ瀬区は、耳取区・草井沢区・鷲之巣区の３区が約１年の協議を経て統合し、昨年４月にスタートしました。すべてがはじめてとなる不安を抱えながらも、区民一丸となって協議会活動を積み重ねました。みんなで楽しくをモットーにした取り組みは、敬老会で披露したスコップ三味線の余興が地域を飛び越えて、チャリティショーにも出演するなど盛り上がって新年を迎えました。

みんなの笑顔で願う元気と豊作

川舟保育所「小正月行事」

おばあさんのホッピキに興味津々の園児たち

１月10日、川舟保育所で小正月行事が行われ、お年寄りや保護者など約50人が参加し、豊作を祈願する伝承活動として自然の色を使った５色のミズキ団子を作って飾りました。また、お手玉やホッピキなど昔ながらの遊びをお年寄りが園児たちに教えながら楽しみ、沢内小学校から提供されたもち米を臼と杵でつき、１年の元気を願ってお餅を食べました。

園児たちはこの日のために今年の干支である羊にちなんだ「羊の壁掛け飾り」を作り、お世話になったお年寄りに手渡してお礼をしました。唯一の年長組の久保心結（みゆ）ちゃん（６才）は「もちつきがたいへんだったけど、ミズキだんごをきれいにかざれてたのしかった」とうれしそうに話しました。

雪原での熱き戦い「雪合戦」がはじまる

西和賀町長杯小学生雪合戦大会

１月11日、湯田小学校特設会場で西和賀町長杯小学生雪合戦大会が行われました。大会は西和賀町雪合戦協会（高橋新太郎会長）が主催、西和賀の冬と雪の良さの再発見と交流による子ども達の健全育成を目的として開催されています。

第15回を迎える今大会には、宮城県加美町からの参加も含め８チームがエントリーして雪原で熱い戦いを繰り広げました。（大会結果は18Ｐ）

2016希望郷いわて国体では、デモンストレーションスポーツとして室内雪合戦が西和賀町で行われる予定であり、１月24・25日開催のほっとゆだ北日本雪合戦大会など今後の雪合戦大会に注目が高まります。

雪合戦ではシェルターに身を隠しながら雪玉を投げます

今も受け継がれる冬の伝統行事

無形民俗文化財「白木野人形送り」

チョンマゲにカミシモ、２本の刀をさしたワラ人形

１月19日、白木野地区で町無形民俗文化財に指定されている伝統行事「白木野人形送り」が行われました。毎年１月19日に行われる人形送りは、ワラ人形に地域内の疫病神を背負わせて地域の外に送り出し、人形を地域境の木に結びつけ、外から疫病が入るのを防ぎ、一年間の無病息災を祈る行事です。

白木野公民館に集合した地区民約20人が、持ち寄った藁でワラ人形を作りました。ワラ人形は、チョンマゲにカミシモ、２本の刀をさした身の丈１メートルくらいのサムライ姿で、背中には餅を背負っています。ワラ人形が完成するとホラ貝を鳴り響かせながら地区内を練り歩き、地区境の木に祀られました。

お知らせ

役場から

国民年金保険料は申告の控除対象です

国民年金保険料は、所得税や町・県民税の申告の際、健康保険と同様に社会保険料控除の対象となり税額が軽減されます。平成26年中に納めた保険料の全額が対象で、配偶者や家族の保険料を支払っている場合も控除できます。

申告書の提出の際には、日本年金機構から送られた社会保険料控除証明書または領収証書を添付してください。

税額控除を受けられる国民年金は、老後や不慮の事故などにも心強い制度ですので、忘れずに納めましょう。

●**問合先**／町民課　☎(85)2111

申告で控除を受ける人へ必要書類を発行します

医療保険室では、所得税や町・県民税の申告をする際、次の控除を受ける際に必要な書類を発行します。それぞれの書類が必要な人は、3月16日(月)(確定申告期間内)までに医療保険室(沢内庁舎)へ申請してください。

【障害者控除対象者認定書の発行】

納税者本人、配偶者、扶養親族のうち次に該当する人がいる場合は、障害者控除を受けられる場合があります。

【対象】障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)を持っていないが、介護保険による要介護認定を受けており、ある一定の基準を満たす方(※)、又は次のいずれかに該当する65歳以上の人

①知的障がい者(軽度から重度)に準じる人

②身体障がい者(1～6級)に準じる人

③6ヶ月以上「寝たきり」の状態になっている人

※要介護認定を受けているすべての人が対象となるとは限りません。また、介護認定は平成26年12月31日現在の状況によります。

【おむつ代の医療費控除確認書】

次の条件をすべて満たす人は、医師が発行する「おむつ使用証明書」の代わりに、町が発行する「確認書」を医療費控除の添付資料とすることができます。

①おむつ代についての医療費控除を受けるのが2回目以上になる。

②平成25年中に介護保険の要介護認定を受けている。

③介護認定審査会資料に使用された主治医意見書により、寝たきり状態で尿失禁の可能性があると認められる。

※おむつ第の確認書が必要な人は印鑑が必要になりますのでご持参ください。

●**問合先**／医療保険室　☎(85)3414

農林業センサスにご協力を

今年2月1日を基準日として、「2015年農林業センサス」が行われます。

農林業センサスは、日本の農林業や農山村地域の実態を明らかにすることを目的に、全国の農林業を営むすべての農家や法人を対象に、5年ごとに行う調査です。調査結果は、農林業施策の企画・立案やその推進の土台となる重要な情報となるほか、まちづくりに欠かせない資料として利用されます。

調査対象のお宅や法人には統計調査員が伺いますので、調査へのご協力をお願いします。なお、調査票などに記入された内容は、統計法に基づき統計資料を作成するためだけに使用します。その他の目的に使うことはありません。

●**問合先**／総務課　☎(82)3281

「はたちの献血」キャンペーン

1月1日から2月28日までは「はたちの献血」キャンペーン実施期間です。

献血者が減少しがちなこの季節、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心として、幅広い世代の皆さんにご協力をお願いします。

●**問合先**／町民課　☎(85)2111

町内小中学校の「地域コーディネーター」を募集します

教育委員会では、学校の教育活動や教育環境の充実を図るうえで、学校が必要としている様々な支援を地域の皆さんに有償のボランティア活動として協力していただくため、「地域コーディネーター」を募集します。

●**募集人数**／2名
(湯田地区1名、沢内地区1名)

●**主な活動内容**／学校と地域をつなぐパイプ役、広報紙の作成等

●**活動場所**／
湯田地区…湯田小学校又は自宅など
沢内地区…沢内小学校又は自宅など

●**活動時間**／週3日、一日3時間程度
(活動状況によって異なることもあります。)

●**活動謝金**／1時間あたり1000円

※健康保険、厚生年金、雇用保険の適用や通勤手当等はありません。

●**募集期限**／平成27年2月13日(金)

●**申込・問合先**／生涯学習課　☎(82)2045

国や県から

西和賀むらづくりフォーラム 6次産業シンポジウムの開催

西和賀の農産物や農産加工品、食文化を町内外の人々に発信し、農業・加工産業・観光業などの地域の産業の発展につなげるため、西和賀むらづくりフォーラム・6次産業シンポジウムを開催します。

●**日時**／2月25日(水)10時～15時50分

●**会場**／銀河ホール

●**内容**／①西和賀母さんの一品商談会
②6次産業シンポジウム

●**申込・問合先**／
西和賀普及サブセンター☎(82)3125

その他

藤原長作さんの米作りに学ぶシンポジウム開催

米作り日本一に輝いた本町出身の(故)藤原長作さんが取り組んだ中国での稲作指導の功績を知り、本町の農業が直面している課題に向きあい、今後の地域農業を進展させるヒントがないかを探るシンポジウムを開催します。

●**日時**／2月13日(金)16時～

●**会場**／沢内バーデン

●**内容**／第一部　講演・シンポジウム
第二部　交流会

●**申込**／第二部に参加する場合は、2月10日までにお申込ください。(第一部のみの参加は申込不要)

●**申込・問合先**／西和賀町国際交流協会(農業委員会　内記)☎(85)3143

お知らせ

着なくなった服を作品に！美大生との作品づくりにご協力をお願いします！

３月に開催する銀河ホールの学生合宿「湯田温泉峡風呂美術大学」では、京都や東京の美大生が中心となって、町内の古着を縫い合わせて大きな「旗」を制作します。皆さんに譲っていただいた古着を使うことで、「その服を身に付けていた人の時間や歴史がつまった旗にしたい」と考えているそうです。そこで、作品の素材となる古着と、一緒に旗を縫ってくれる方を募集します。

【古着】

色やサイズ、形は問わず、穴が開いていたり、破れていたり、汚れていても問題ありません。目標は2,000着（！）だそうです。北は貝沢から南は草井沢まで、地域おこし協力隊がどこへでも回収に伺いますのでお気軽にお問い合わせください。

【一緒に旗を縫ってくれる方】

制作はミシンと手縫いで行う予定です。期間は2015年３月３日から３月５日まで、場所は旧川尻小学校を予定しています。お申込みいただいた方には、２月下旬頃にあらためてご連絡いたします。

「町民の皆さんと一緒にパッチワークすることで、完成した作品が「人と人を繋ぐ旗」となることを目指しています！」とのことです。ご協力よろしくお願いします！

●問合先／☎82-3284（政策推進室　地域おこし協力隊　森／村上）

税務関係のお知らせ

◆問い合わせ先／税務会計課　☎82-3282･3283

今月納めていただく税金と納期限

町県民税	4期
国民健康保険税	7期
介護保険料	7期
後期高齢者医療保険料	7期

※納期限及び口座振替日は2月2日(月)です。

■家屋の新増築・取壊しをする場合は連絡を！

家屋の固定資産税は、毎年１月１日現在で建っているものに課税されます。

適切な課税のために、次のときは税務会計課へ連絡をお願いします。

❶家屋の新築や増築をした場合
❷家屋の一部または全部を取り壊す場合

戸籍の窓

12月16日～1月15日受付分

※掲載を希望しないこともできます。届け出の際にお申し付けください。

末永くお幸せに

髙橋宏希（湯本）・菅野静香（湯田）

ご誕生おめでとうございます

高橋　聖（せい）くん（男）　寿幸さん（湯之沢）

髙橋　華（なは）ちゃん（女）　智之さん（湯之沢）

お悔やみ申し上げます

佐々木清一さん（前郷）12月20日永眠（87歳）
柏崎　康夫さん（湯田）12月23日永眠（87歳）
南川留次郎さん（湯田）12月23日永眠（96歳）
髙橋金四郎さん（川舟）12月25日永眠（91歳）
佐藤　安次さん（湯本）12月26日永眠（78歳）
五十嵐　實さん（湯之沢）12月31日永眠（79歳）
髙橋　繁子さん（東大野）1月 2日永眠（66歳）
田村　壮一さん（川尻）1月 2日永眠（66歳）
佐々木茂子さん（左草）1月 3日永眠（85歳）
鎌田　ツルさん（川尻）1月 6日永眠（95歳）
髙橋　シケさん（東大野）1月 7日永眠（96歳）
髙橋　成信さん（小繋沢）1月11日永眠（69歳）
中村久次郎さん（長瀬野）1月12日永眠（95歳）
佐藤　チヨさん（湯本）1月12日永眠（98歳）
髙橋　善一さん（猿橋）1月14日永眠（79歳）

住民の動き（12月分）

項目	実数	前月との比較
転入	4	－7
転出	12	＋5
出生	1	－1
死亡	7	－3
人口	6,262	－18
男	2,929	－10
女	3,333	－8
世帯数	2,380	－7

交通事故の状況（12月分）

区分	物損	人身	負傷	死亡	飲酒
実数	29	0	0	0	0
累計	(142)	(8)	(17)	(1)	(2)

（　）は１月からの累計

火災・救急の状況（12月分）

■火災

区分	火災出場件数
件数	0件（3件）

■救急

区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	4件（39件）	13件（147件）	10件（115件）	27件（301件）
搬送人員	3人（41人）	13人（138人）	10人（109人）	26人（288人）

※救急は４月から町外への出動を含む件数（　）は１月からの累計

スポーツ結果

（丸数字は順位。敬称略 総務課調べ）

◆第11回沢内ジュニアクロスカントリースキー大会
（１月10日、志賀来スキー場）

▶小学校１年男子の部（１ｋｍ）
①内記孝宗（沢内ＪＲスポ少）６分16秒９
▶小学校１年女子の部（１ｋｍ）
①大堰喜代（沢内ＪＲスポ少）５分22秒８
▶小学校２年男子の部（１ｋｍ）
①小田島海斗（沢内ＪＲスポ少）４分40秒
④高橋結海（沢内ＪＲスポ少）６分32秒７
▶小学校３年男子の部（２ｋｍ）
①渡辺賢平（沢内ＪＲスポ少）14分13秒６
▶小学校３年女子の部（２ｋｍ）
①高橋依咲（沢内ＪＲスポ少）11分38秒２
②掃部ひなた（沢内ＪＲスポ少）12分10秒
⑤太田芽夢（沢内ＪＲスポ少）13分47秒３
▶小学校４年男子の部（３ｋｍ）
③大堰頌仁（沢内ＪＲスポ少）16分47秒９
▶小学校４年女子の部（３ｋｍ）
①高橋舞（沢内ＪＲスポ少）20分20秒４
▶小学校５年男子の部（３ｋｍ）
①高橋颯太（沢内ＪＲスポ少）15分50秒５
③菅野光輝（沢内ＪＲスポ少）19分07秒５
▶小学校５年女子の部（３ｋｍ）
⑤太田空（沢内ＪＲスポ少）17分00秒４
▶小学校６年男子の部（３ｋｍ）
①大堰徳（沢内ＪＲスポ少）12分19秒４
③有馬秀人（沢内ＪＲスポ少）16分48秒８
④高橋優希（沢内ＪＲスポ少）16分58秒１
▶小学校６年女子の部（３ｋｍ）
⑤石川梨瑚（沢内ＪＲスポ少）17分41秒３

◆第24回志賀来クロスカントリースキー選手権大会
（１月10日、志賀来スキー場）

▶小学校４～６年男子の部（３ｋｍ）
①大堰徳③高橋颯太⑥大堰頌仁

◆第32回志賀来ＪＲアルペンスキー選手権大会
（１月10日、志賀来スキー場）

▶小学生男子の部（大回転　２本の合計タイム）
①加藤瑞基（湯田ＪＲレーシング）38秒79
②山田雅拓（湯田ＪＲレーシング）39秒63
③高橋翔（湯田ＪＲレーシング）41秒30
④高橋希楽（沢内ＪＲスポ少）43秒86
⑤加藤睦規（湯田ＪＲレーシング）44秒31
⑥佐々木颯太（湯田ＪＲレーシング）45秒55
▶小学生女子の部（大回転　２本の合計タイム）
①松川侑暉（沢内ＪＲスポ少）51秒92

◆第15回西和賀町長杯小学生雪合戦大会
（１月11日、湯田小学校特設会場）

①沢内スノーボーイズ
②鬼柳野球少年団（北上市）
③湯田レイダース、和賀西ジャパン（北上市）

ツアー参加者募集！

北上線で行く横手かまくらツアー

岩手・秋田県際交流事業実行委員会では、北上線を利用した「横手かまくらツアー」への参加者を募集しています。

●期　日／２月14日（土）
●行　程／ほっとゆだ駅　→　横　手　駅
17時07分発　　17時39分着
～かまくら見学～
横　手　駅　→　ほっとゆだ駅
20時10分発　　20時42分着
●対　象／町内居住者、町内勤務者
●料　金／500円（小学生は半額、小学生未満は無料）
●定　員／10人
●申込期限／２月２日（月）
●その他／悪天候の場合はツアーが中止になることもあります。
●申込・問合先／政策推進室　☎82－3284

雪あかり発祥の地！雪あかり2015inにしわが

1800万を超えるろうそくのあかりが真冬の西和賀に灯る。

●期　日／２月７日（土）
●時　間／17時30分（点灯）～20時頃
●会　場／西和賀町内全域
●問合先／西和賀雪あかり実行委員会
（西和賀商工会内）☎82－2270

冬のおいしさが勢ぞろい！「北上・西和賀にぎわいフェア」

北上と西和賀、そして秋田の特産品が勢ぞろい。もちまきやステージイベント、お楽しみ抽選会などイベントが満載です。

●期　日／２月13日（金）・14日（土）
●時　間／10時～15時
●会　場／おでんせプラザ「ぐろーぶ」地階
（北上駅前にあるビル）
●その他／来場者は北上駅前北駐車場が無料になります。
●問合先／観光商工課　☎82－3290

公営住宅の入居者募集

町では、公営住宅等の入居者を募集します。

■選考方法
応募者が複数になった場合、住宅の困窮度合いを勘案して、入居者選考委員会を経て決定します。

■入居可能予定日
平成27年3月下旬

■申込み
・受付期間　3月10日（火）まで
・受付場所　沢内庁舎　町民課（町民生活グループ）

■その他
・募集要項及び申込書は、町民課（沢内庁舎）及び税務会計課（湯田庁舎）で配布します。また、西和賀町ホームページからもダウンロード出来ます。（http://www.town.nishiwaga.lg.jp/）
・入居資格基準や申込手続等の詳細については、町民課（住宅担当）まで問い合わせください。

◆問い合わせ先／町民課（住宅担当）☎(85)2111（内線133）

【町営住宅】構造：木造２階建

団地名	募集戸数	建築年度	間取り	家賃（月額）	入居資格
上野々	2	S61 S62	3DK	14,100円～ 14,400円～	①現に住宅に困窮していることが明らかであること ②月額所得（※）が15万８千円以下であること（高齢者・障がい者などの世帯は21万4千円以下） ③町税の滞納が無い者
大沓	1	H6	3DK	18,500円～	
川舟	1	H9	3K	18,800円～	

【特定公共賃貸住宅】構造：木造２階建

団地名	募集戸数	建築年度	規模	家賃（月額）	入居資格
大沓	2	H8 H9	3DK	42,000円	①原則として同居する家族（婚約者含む）のいる方 ②月額所得（※）が20万円以上60万１千円以下であること ③町税の滞納が無い者

【若者定住促進住宅】構造：木造２階建

団地名	募集戸数	建築年度	規模	家賃（月額）	入居資格
湯田	1	H21	1DK	28,000円	①単身者であること ②町内に住所を有する者であること（入居日において住所を有することが確実な者を含む） ③入居申込日において年齢が満40歳未満であること ④町税の滞納が無い者
湯田	4	H26	1K	28,000円	

（※）世帯総所得額から同居家族一人あたり38万円を差し引き、12ヶ月で割った額（家族構成や年齢などにより、差し引く額に加算あり）

入札資格審査を始めます

町は、入札資格審査を次のように定め、受付を開始します。平成27・28年度に町が発注する建設工事、建設関連業務や物品購入などの入札に参加したい人は、必要な書類を期限内に提出してください。

●**受付期間**／2月1日(日)～28日(土)

●**共通して必要な書類**
①入札参加資格審査申請書（岩手県様式一式）
②印鑑証明書（写し可）
③使用印鑑届（原本）
④法人の場合は登記簿謄本、個人の場合は身分証明書（写し可）
⑤委任状（任意様式）
⑥委任先の事業所及び連絡先（任意様式）
⑦納税証明書（写し可）
法人の場合は法人市町村民税と固定資産税、個人の場合は市町村民税、固定資産税と国民健康保険税。また、全業者とも課税対象事業者の場合には消費税及び地方消費税

●**申請区分により必要な書類**
〈建設工事〉
①経営規模等評価結果通知書総合評定値通知書（写し可）
②建設業許可証明（写し可）
③工事経歴書（県様式）
④技術職員名簿（県様式）
⑤浄化槽工事を希望する場合は浄化槽施工技術者調書（任意様式）（浄化槽設備士免状の写しでも可）
⑥舗装工事を希望する場合は舗装施工管理技術者調書（県様式）

〈建設関連業務〉
①営業に関し法律上必要な登録証明書（写し可）
②財務諸表
③測量等実績調書
④技術者経歴書

〈物品購入等〉
①営業に関し法律上必要な登録証明書（写し可）
②財務諸表

●**提出部数と書類規格**／1部、A4版ファイル綴じ（色指定なし）

●**提出方法**／持参、郵送どちらでも可

●**その他**／申請書の宛名は「西和賀町長　細井洋行」にしてください。また、資格者名簿の有効期間は平成27・28年度の2会計年度です。資格審査結果は通知しませんが、資格者名簿に登載できない場合には文書で通知します。詳細は西和賀町ホームページをご覧ください。（http://www.town.nishiwaga.lg.jp/）

◆問合先・提出先／〒029-5512 西和賀町川尻40-40-71 西和賀町役場総務課 ☎(82)3281

われら！いきいきクラブ!! vol.18

町内で様々な活動をしているグループ、個人を紹介していきます。

寒い冬の熱き戦い「雪合戦」のシーズンがはじまりました。雪合戦は、１チーム７名の選手がコート内のシェルターに身を隠しながら、相手の選手めがけて雪玉を投げたり、チームフラッグを奪い合う競技です。2016希望郷いわて国体では、室内雪合戦がデモンストレーションスポーツとして西和賀町で行われます。

１月11日に開催された町長杯小学生雪合戦大会に出場し、身体をいっぱいに使って雪を楽しみ、見事上位入賞を果たした町内の２チームを紹介します。

沢内スノーボーイズ

選手　髙橋　優希さん　髙橋明華音さん
　　萩野　　麟さん　髙橋　颯太さん
　　太田　　空さん　髙橋　　響さん
　　新田　　輝さん　萩野　　煌さん
　　髙橋　依咲さん
監督　髙橋　健太さん

湯田レイダース

選手　高橋　敬子さん　佐藤　志渚さん
　　多田　空斗さん　高橋　辰光さん
　　髙橋　　翔さん　髙橋　大稀さん
　　高橋　泰都さん　照井　彪天さん
　　髙橋　潤哉さん
監督　高橋　大輔さん

ホットほっとにしわが

錦秋湖・湖底の古里

明けましておめでとうございます。

今年も「広報にしわが」をどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、錦秋湖（湯田ダム）が完成して五〇周年ということで記念交流会も開催され、半世紀の時を刻んだ錦秋湖の歴史とこれからの地域の未来を考えさせられた一年でした。

この写真は昨年の秋、放流で枯渇し昔の景色が出現した湖底を撮影したものです。幾筋にも割れた地面が、時の流れを感じさせます。

私が撮影している時、ご夫婦と思われるカップルが、長い間湖底を歩いておられました。

湖底に沈んだ古里を、静かに懐かしんでいたのでしょうか・・・

（広報編集委員　髙橋　定雄）

時の流れを感じさせる錦秋湖湖底
（平成25年10月中旬撮影）

広報編集委員が町内を駆け回り、「にしわが」をお伝えします。

編集後記

多くのオーナーが心待ちの大根の一本漬けを試食・・・なんとウメェ！天ヶ瀬区新年交賀会でも一本漬けが・・・これまたウメェ！どこに行っても出てくる一本漬けは場所が違えば味も違うけど、添えられる言葉はどこでも同じ。「ウメェがらけぇ」って出される西和賀の冬の料理はウメェばりウメェ自慢の味です。　広報担当　内記良伸

広報にしわが
■発行日／平成27年1月23日（毎月25日発行）
■編集・発行／〒029-5512 岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71 西和賀町役場総務課 電話0197-82-2111 FAX0197-82-3111
■発行人／細井洋行　■編集人／髙橋一夫　■印刷／鶴田印刷株式会社・横手市
VEGETABLE OIL INK